

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年7月21日（水）午前11時から

会 場：アオーレ長岡西棟4階 第二委員会室

【会見項目1：8月1日は「長岡市恒久平和の日」

長岡空襲を伝える取り組みを実施】

（市長）

今年の長岡まつりについて、それぞれ主催団体が新型コロナウイルス禍でも実施できる形を検討してきました。このたび全体の開催内容がまとまりましたのでお知らせします。

8月1日の「長岡市恒久平和の日」では、長岡空襲を伝える取り組みを実施します。長岡市は、昭和20年の空襲で現在分かっているだけでも1,488人の、尊い命が失われた県内唯一の大規模戦災都市です。昨年と同様に新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、戦災で亡くなられた方々を慰霊、追悼し、平和を願う行事を開催します。これからも長岡空襲の記憶を風化させることなく、平和の尊さとともに次の世代へ伝えていくことが、長岡市の責務だと考えています。

一つ目の行事は、長岡市平和祈念式典です。この式典は、昭和60年の「非核平和都市宣言市民の集い」に始まり、長岡市恒久平和の日条例が制定された平成27年から「長岡市平和祈念式典」という名称に変わりました。名称に変えてから今年で7回目となります。

参加者は、感染症対策のため、長岡空襲殉難者遺族を中心とした市民約200人に絞ります。

殉難者への黙とうのほか、献花、中学生代表による非核平和都市宣言の朗読などを行い追悼と平和への思いを発信します。

二つ目の行事は、鎮魂たむけの花・長岡空襲殉難者遺影展示です。8月1日から3日までの3日間、アオーレ長岡の市民交流ホールAを会場に、空襲で亡くなった方々を追悼する市民献花を行うほか、会場内に殉難者の遺影を展示します。

その他に、7月31日には平和の森コンサート、8月1日には平潟神社での戦災殉難者慰霊祭など、さまざまな平和関連事業が実施されます。

続いて、戦災関連写真カラー化の取り組みについて説明します。昨年度に引き続き、長岡空襲前後の市内の風景などの写真をカラー化する取り組みを行っています。今年度計画している5枚の写真のうち、1枚が完成しました。こうした取り組みにより、長岡空襲や戦争の記憶が

なくならないように次の世代に引き継いでいきたいと思います。

最後に、長岡空襲の体験を継承するため長年にわたり空襲体験の語りを続けていただいた金子登美さんが6月に亡くなりました。これまで長岡戦災資料館での活動だけでなく、市の平和事業や小・中学校での平和学習にも広く御貢献いただいたため感謝状を贈呈いたします。

(記者)

金子登美さんの感謝状贈呈について、贈呈する日にちは決まっていますか。

(市長)

今のところ決まっていません。ご遺族の方が長岡に来られた時にお渡ししたいと考えています。

(記者)

これまで300回以上、空襲体験を語ってこられた金子登美さんが亡くなられたことについて、市長はどのように受け止めていますか。

(市長)

金子登美さんは、戦争の悲惨さを多くの方、特に子どもたちに知ってもらい、残すということを一生涯懸命やってくられた方です。そういった方が亡くなられるということは、歴史の記憶がなくなりつつあるということだと思っています。

語り部として活動していただいている方だけに頼るのではなく、長岡市としてしっかりと残していくという思いを強くしています。

また、残されたものを展示する戦災資料館のあり方についても考えていきます。

【会見項目2：8月1日～3日 想いと祈りをみんなの空に

長岡花火を市内全地域で打ち上げ】

(市長)

長岡花火について説明します。新型コロナウイルスの影響により、断腸の思いで、長岡まつり大花火大会を2年連続で中止しました。しかし、長岡花火は、戦禍や震災を乗り越えてきた証の一つであり、長岡人の心です。長岡花火財団が検討を重ね、市民一丸となり新型コロナウイルス禍を乗り越えるということと、市民の皆様にも少しでも花火を楽しんでいただきたいという、二つの想いを込めて、8月1日から3日までの3日間、長岡花火を打ち上げることを決めました。特に2日、3日については、観覧者による混雑の回避も考慮して、長岡地域と全支所地域の合計11地域に分散して花火を打ち上げます。

8月1日は例年と同じように、長岡空襲が始まった時刻に合わせて、慰霊の花火「白菊」

10号3発を打ち上げます。

8月2日、3日は、両日とも信濃川河川敷と支所地域5カ所の合計6カ所で打ち上げます。支所地域は、10地域を2日と3日で半分に分けて5カ所ずつとなります。

両日とも各打ち上げ場所で、午後7時30分から「慰霊・復興・平和への祈り」の白色の花火3発、「新型コロナウイルスと戦うすべての人々への感謝とエール、コロナウイルス禍からの復興と早期終息を祈願する花火」として金色の花火を1発、「エール花火」と題したスターマイン1台を各地域で打ち上げます。

(長岡花火財団・樋口専務理事)

このたびの花火打ち上げは、同時に多くの場所で実施するという事で、長岡煙火協会並びに協会所属の花火師の皆様から多大なるご協力をいただき実現するものです。

各支所地域の打ち上げ場所については、感染拡大防止のため広く公表することを控え、町内会を通じて地域の皆様へお知らせします。また、長岡地域の花火の様子は、ケーブルテレビ、YouTubeなどで配信します。

市民の皆様には、感染拡大防止のため、自宅や自宅の近くでご覧いただきたいと考えています。

(記者)

2年連続で長岡大花火大会は中止になりましたが、今年このような形で打ち上げられることについて市長の所感をお聞かせください。

(市長)

2年続いて中止となったことは本当に残念でありませんが、花火財団や関係者の皆様が工夫を重ね、こうした形で花火を打ち上げられることはうれしく思います。特に、打ち上げ場所を分散して行うことで、支所地域を含めたより多くの方に楽しんでいただけることがうれしいです。

花火の量は少なくとも複数の場所での打ち上げ準備はとても手間が掛かります。関係者の皆様に、心から感謝申し上げたいと思います。

(記者)

8月2日、3日の花火の打ち上げは何分間くらいになりますか。

(長岡花火財団・樋口専務理事)

「慰霊・復興・平和への祈り」から「エール花火」までのトータルで2、3分程度の予定です。

(記者)

今年の花火打ち上げにあたり、長岡花火財団としてのコンセプトなどがありましたら教えて

ください。

（長岡花火財団理事長）

1カ所で打ち上げると観客が集まってしまう可能性があるという中で、市民の皆様が花火を見て来年に思いをつなぐために、“みんなの空に”と題して花火の方が各地域に出向いて見ていただくようにしました。

（記者）

各地域で分散して花火を打ち上げることで相当の人員がかかると思いますが、どれぐらいの人数が関わることになりますか。

（長岡花火財団・樋口専務理事）

花火師や警備を担当する人員を含め全体で延べ約150人以上が関わります。

**【会見項目3：8月1日「平和祭」、2日「ふれあい広場」、3日「わんぱくおまつり広場」
今年の長岡まつりはアオーレで開催】**

（市長）

今年の長岡まつりは、アオーレ長岡のアリーナを会場に新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して開催します。

昨年は人が集まらないように工夫しながら開催しましたが、今年は感染防止対策をしっかりと行いながら、市民の皆様から参加していただく形で開催します。参加は事前予約制としますが、来場できない方にも自宅などでお楽しみいただけるよう、YouTubeなどで生中継しますので、ぜひ多くの方から見ていただきたいと思います。

各主催団体におかれましては、準備にご尽力いただき感謝申し上げます。

8月1日の平和祭は、“センバツ”民踊流しやステージイベントを行います。“センバツ”民踊流しでは、15団体の代表147人が長岡甚句や大花火音頭を披露します。また、富曾亀小学校の6年生90人が学校から生中継で参加します。

8月2日のふれあい広場は、郷土芸能や市民活動を発表していただくステージイベントを行います。各団体とも新型コロナウイルス禍で披露する機会が少なくなったとのことですが、日頃の練習の成果を存分に発揮していただきたいと思います。また、8月3日まで、長岡駅2階みどりの窓口に隣接するスペースで、これまでの長岡まつりの写真パネルの展示や、花火の映像などを上映する「長岡まつりin長岡駅」を同時開催していますので、ぜひお立ち寄りください。

8月3日のわんぱくおまつり広場は、ヒーローショーや縁日市など、子どもたちに楽しんでもらえる企画を用意しました。また、8月22日まで中心商店街で、長岡まつりや、昭和30年代、40年代の大手通りの様子などの懐かしい写真を展示する写真展を同時開催します。

今年の長岡まつりは、各主催団体が来年につなげたいという強い思いで、さまざまな工夫を凝らして企画した今年ならではのまつりです。自宅でも見られますので、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

(記者)

平和祭からわんぱくおまつり広場まで、昨年と違い市民参加に踏み込んだ背景を教えてください。

(市長)

長岡まつりは市民のまつりですので、感染対策を行ったうえでどのように市民が参加できるか検討した結果、観覧の事前申込制や、民踊流しの代表制といった形で行うことになりました。

(記者)

平和祭などのアオーレ長岡アリーナで行われるイベントの入場者数を教えてください。

(長岡商工会議所・長谷川事務局次長)

3日間とも入場者は約1,000人を予定しています。ただし、わんぱくおまつり広場は2部制となっており、それぞれの時間で約1,000人となります。

また、各日ともそのほかに関係者が200～300人程度入ります。

【その他の項目】

(記者)

新型コロナウイルスのワクチン接種について長岡市の現状を教えてください。

(市長)

65歳以上で1回目接種済みの方が88.3%、2回目接種済みの方が69.1%です。64歳以下で1回目接種済みの方が19.6%、2回目接種済みの方が8.6%です。市民全体では1回目接種済みの方が44.6%、2回目接種済みの方が30.6%となります。65歳以上の接種希望者への接種は今月中に終わる見込みです。

そして、ディアプラザを会場とした県の大規模接種も先日スタートしました。基礎疾患のある方、職域接種を希望される業界で感染リスクの高い飲食関係などの方、夏休みに入り活動が盛んになる学生を中心とした64歳以下の方にも接種を行っていきたいと思っています。

64歳以下の一般の方への接種予定については、ワクチン供給の遅れから見通しが立っていません。できれば8月中旬までに市民の皆様にお知らせしたいと考えています。

(記者)

国からのワクチン供給が遅れていますが、長岡市ではいつ頃を目途に市民全体への接種を終える見込みですか。

(市長)

当初は10月には希望者への接種が完了すると見ており、少し余裕をもって11月末には完了するとお知らせしていましたが、しかし、ワクチン供給の見込みが立たなくなり、いつまでにといい目途は答えられません。供給量に合わせて、粛々と接種を進めていくのみです。

(記者)

今日から競技が始まった東京オリンピックについて、長岡市もホストタウンとなっていますが、期間中、市として応援や盛り上げるための取り組みは予定していますか。

(スポーツ振興課・課長補佐)

市民の皆様には、市ホームページやアオーレ長岡テラスの大きな掲示物で、オーストラリア競泳・パラ競泳チームおよび飛込チームへの応援を呼び掛けています。また、これまでホストタウンとして交流してきた市関係者や水泳関係者で応援メッセージ動画を作りオーストラリアチームに送る予定です。

(記者)

衆議院議員選挙が近づいていますが、市長は長岡のためにどのような議論が選挙を通じて深まるといいと考えていますか。

(市長)

私は新型コロナウイルスの問題だけではなく、5年先10年先のことを考えると東京一極集中と人口減少による地方の疲弊が加速化していくと思っています。それに対する国の政策が全然見えないという実感を持っています。新型コロナウイルスの影響による地方分散ではなく、国の政策として、どのようにして若者の流出抑制や、産業の育成をしていくのかという議論が高まって欲しいと思っています。